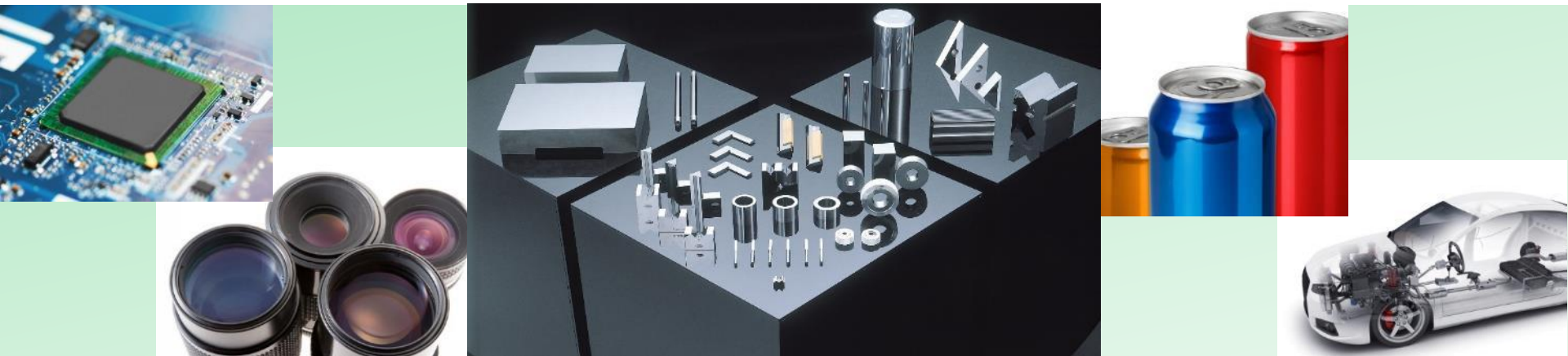


2024年3月期
第3四半期決算 補足説明資料

富士ダイス株式会社

モノづくりを通じて広く社会に貢献する



INDEX

1. 会社概要	P.02
2. 2024年3月期 第3四半期業績概要	P.10
3. 2024年3月期 業績予想	P.15
4. 2024年3月期 重点施策	P.20
5. APPENDIX	P.33

0 1

会社概要

当社の特長

超硬耐摩耗工具市場でトップシェア

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持
多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア
30%以上

開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

お客さまの個別ニーズをカスタマイズできる直販体制
幅広い業種との安定かつ多くのお客さまとの取引実績
設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査までの一貫生産体制

取引社数
約3,000社

長期的成長を担う高い研究開発力（技術力）

粉末冶金技術を活かし、市場ニーズに応える新材料の開発技術
人手による技術を新鋭設備研究と工法最適化による現行技術との融合

コア技術
・粉末冶金技術
・超精密加工技術

財務基盤：黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持

ネットキャッシュ	7,483百万円
フリーキャッシュフロー	62百万円

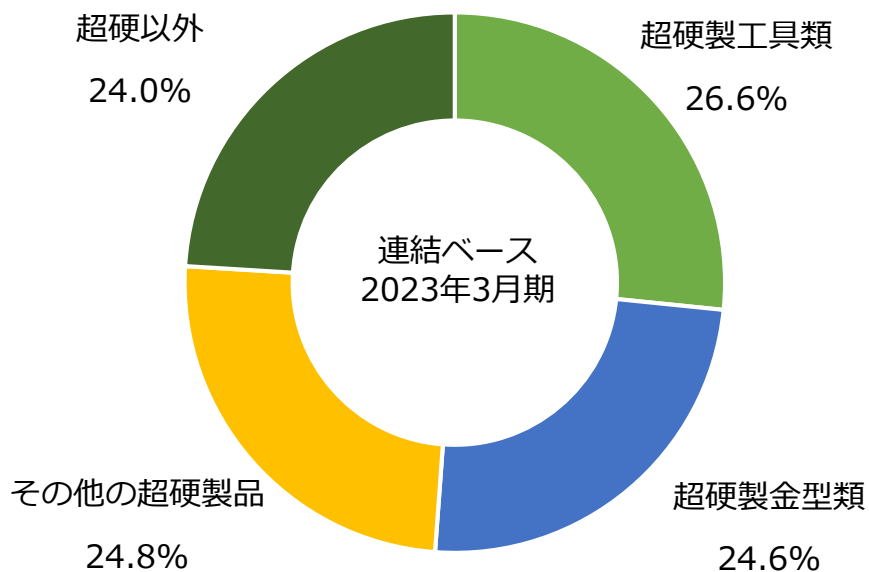
自己資本比率
77.3%
(2023年12月末時点)

(2023年3月期)

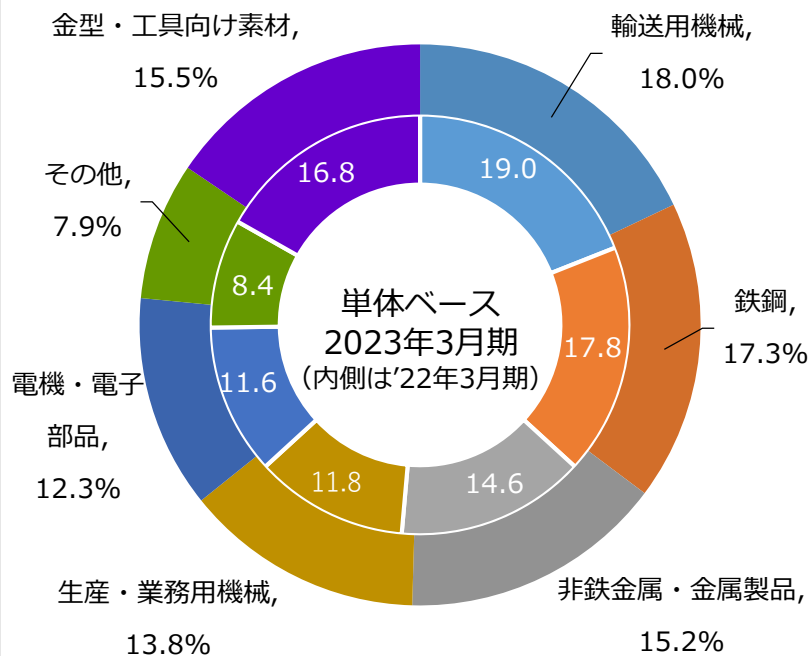
超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造

幅広い産業分野
における顧客

【製品区分売上構成(%)】

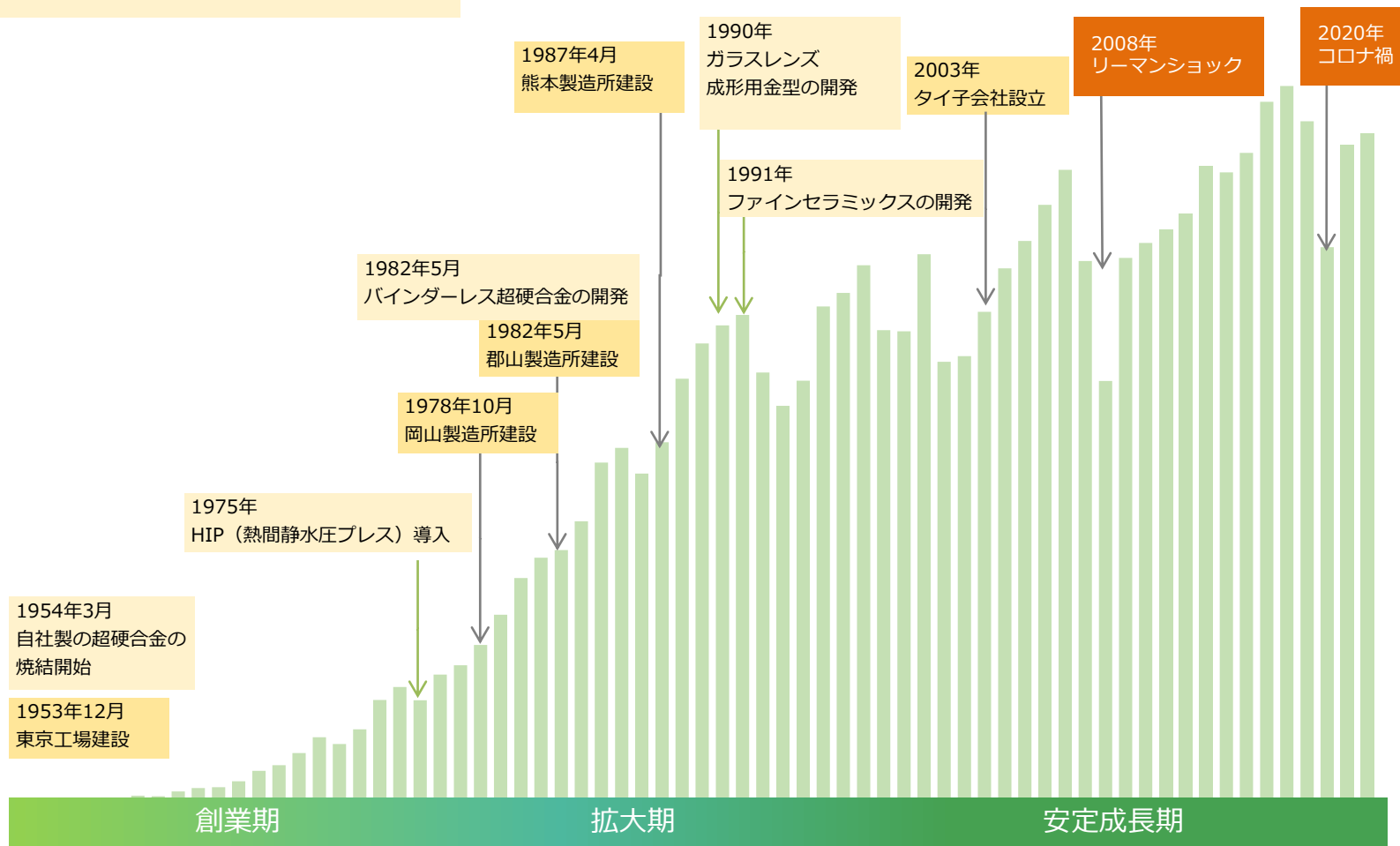


【顧客産業分類区分売上構成(%)】



主な沿革と売上高推移

創業以来、黒字経営を継続



(注) 2012年度以降は連結売上高

拠点ネットワーク（国内）（2023年12月末時点）

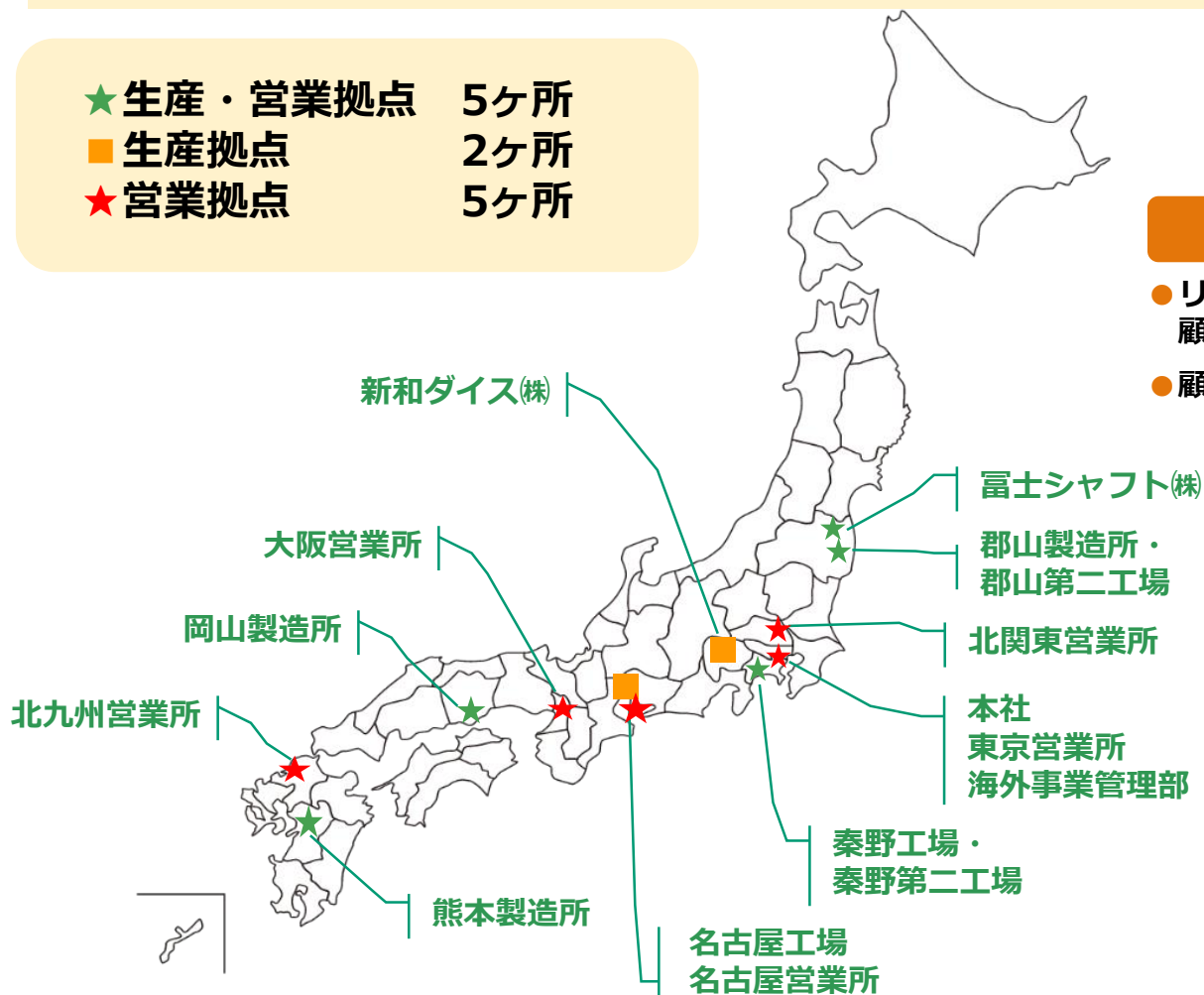
業界最大の直接販売網を構築

メンテナンス（修理・再研磨）により高いリピート率を実現

- ★生産・営業拠点 5ヶ所
- 生産拠点 2ヶ所
- ★営業拠点 5ヶ所

顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能



拠点ネットワーク（海外）（2023年12月末時点）

- ★生産・営業拠点 2ヶ国（タイ・インドネシア）
- ★営業拠点 3ヶ国（中国・マレーシア・インド）



PT. FUJILLOY INDONESIA



FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD.

2023年11月で設立20周年

FUJILLOY



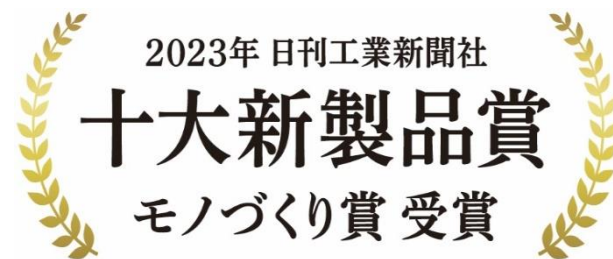
中国 東莞に新しい営業所を開設

- 2024年3月1日に、中国にある子会社「富士模具貿易（上海）有限公司」の新しい営業所を華南エリアの東莞（広東省）に開設、拡販による売り上げ拡大を目指す。
- 華南エリアには、電子部品や自動車大手メーカーが集積しており、富士模具貿易（上海）有限公司がある上海周辺（華東地域）に匹敵する潜在需要が見込まれる。



2023年 第66回十大新製品賞において 「モノづくり賞」を受賞

- 当社の「高熱膨張ガラス成形用新硬質材料【フジロTR05】」が、日刊工業新聞社主催の「2023年 第66回十大新製品賞」において「モノづくり賞」を受賞。
- 日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業賞」において「技術功績大賞」に続く受賞となった。



【受賞製品「TR05」】

熱による寸法の変化量をガラスと同程度の従来比2倍に引き上げることでプレス成型時の割れを防ぎ、熱膨張係数が大きいガラスレンズの安定的な量産を可能に。

02

2024年3月期
第3四半期 業績概要

2024年3月期第3四半期累計期間 総括

連結売上高 12,323百万円 (前年同期比-2.9%)

連結営業利益 590百万円 (前年同期比-34.0%)

- 連結売上高は前年同期比で減少
- 連結売上高の減少、熊本冶金棟建設に伴う一時的な費用増の影響を受け減益

売上高	増加要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外向け溝付きロール、鋼管用ダイス・プラグの需要増 ■ 光学素子成形用金型、モーターコア用金型の需要増 ■ 半導体製造装置向けの需要増 ■ 原材料、電力燃料等の高騰に伴う価格改定
	減少要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国の経済停滞に伴う需要減 ■ 自動車部品関連金型の回復遅れに伴う需要減 ■ 二次電池向け金型、引抜鋼管の需要減
利益	増加要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産性向上・業務効率化の施策に一定の成果 ■ 原材料、電力燃料等の高騰に伴う価格改定
	減少要因	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連結売上高減少に伴う利益減少 ■ 熊本製造所の冶金棟建設に伴う一時的な費用増

2024年3月期第3四半期 連結業績サマリー

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	2024年3月期	業績予想
	第3四半期実績	第3四半期実績	増減率	業績予想	進捗率
売上高	12,694	12,323	-2.9%	17,800	69.2%
営業利益	894	590	-34.0%	1,170	50.5%
(営業利益率)	(7.0%)	(4.8%)	(-32.0%)		
経常利益	957	649	-32.1%	1,230	52.8%
(経常利益率)	(7.5%)	(5.3%)	(-30.1%)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	658	477	-27.4%	890	53.7%
(四半期純利益率)	(5.2%)	(3.9%)	(-25.2%)		
1株当たり 四半期純利益	41.41円	33.73円	-18.5%	44.87	-
自己資本比率	77.7%	77.4%	-		
	(2023年3月期末)				

(百万円未満 切り捨て)

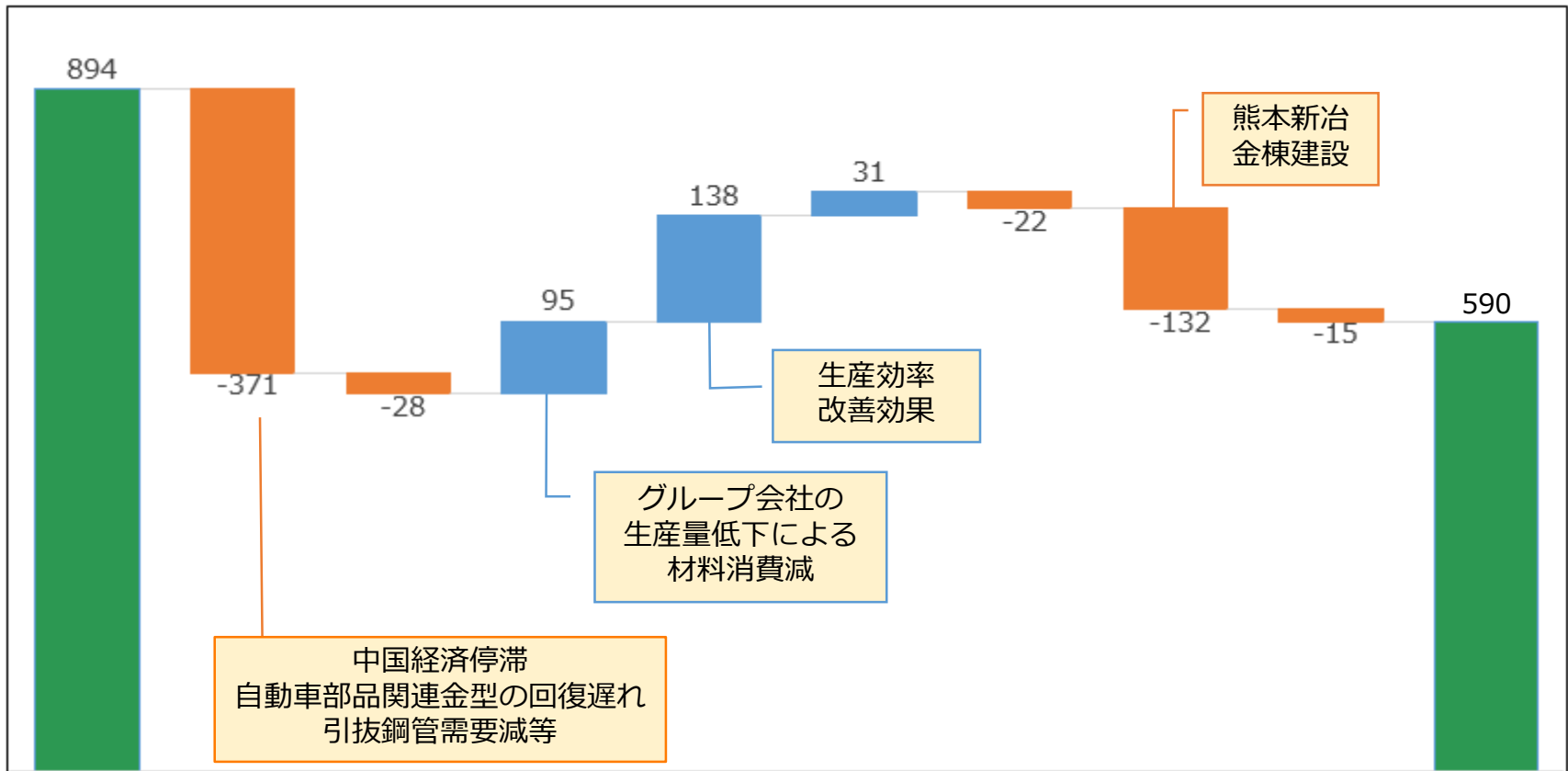
2024年3月期第3四半期 連結営業利益 増減要因（前年同期比）

営業利益

生産性向上・業務効率化の施策の効果等はあったものの、売上高の減少や熊本冶金棟建設に伴う一時的な費用増の影響を受け減益

(単位：百万円/百万円未満 切り捨て)

連結営業利益 (百万円)



23年3月期 実績 社外売上高 材料費(超硬) 材料費(その他) 外注加工費 電力燃料費 人件費 設備関連費用 その他 24年3月期 実績

2024年3月期第3四半期 財務の状況 連結貸借対照表 増減分析

- 受取手形及び売掛金が453百万円減少したことにより、流動資産は586百万円減少
- 建設仮勘定が1,172百万円減少し、建物及び構築物が1,488百万円増加したことにより固定資産は740百万円増加

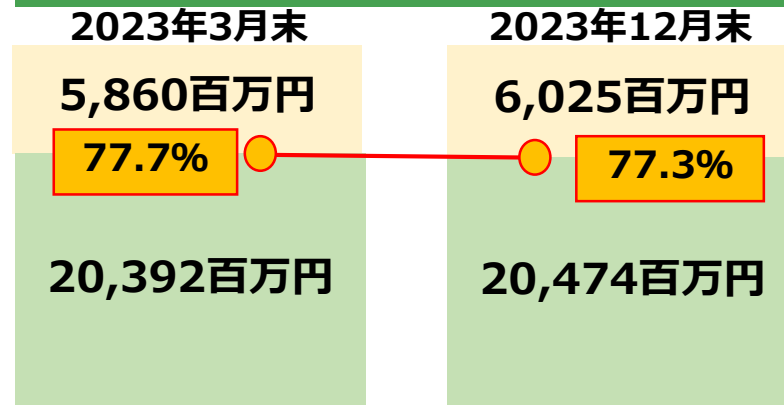
財務状況

2023年12月末 ※ () は2023年3月末との差

資産 26,500百万円 (247百万円)	負債 6,025百万円 (165百万円)
	純資産 20,474百万円 (82百万円)

単位：百万円	2023年3月末	2023年12月末
流動資産	15,724	15,138
固定資産	10,528	11,362
資産合計	26,253	26,500
流動負債	4,197	4,359
固定負債	1,662	1,666
負債合計	5,860	6,025
純資産合計	20,392	20,474

負債・純資産・自己資本比率



■ 負債 ■ 純資産 ● 自己資本比率

現金及び預金	6,423百万円
原材料及び貯蔵品	1,319百万円
建物及び構築物 (純額)	5,087百万円

短期借入金	37百万円
長期借入金	-百万円
退職給付に係る負債	1,615百万円

利益剰余金	19,664百万円
その他包括利益累計額	727百万円

(百万円未満 切り捨て、自己資本比率は小数点第2位を四捨五入)

03

2024年3月期
業績予想

2024年3月期 業績予想 下方修正

生産性向上・業務効率化の施策や原材料等の高騰に伴う価格改定等に一定の成果があったものの、自動車部品関連金型の回復遅れ等に伴う売上高の減少の影響を受け、各段階利益とも前回公表の業績予想数値を下回る見込み

営業利益
8.3億円
(前期比1.7%増)

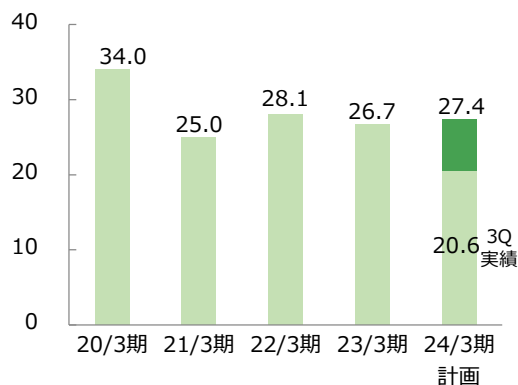
(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	17,800	1,170	1,230	890	44.87円
今回修正予想(B)	16,500	830	890	670	33.73円
増減額(B-A)	-1,300	-340	-340	-220	
増減率	-7.3%	-29.1%	-27.6%	-24.7%	
前期実績 (2023年3月期)	17,179	1,150	1,225	1,292	65.19円
前期比増減率	-4.0%	-27.9%	-27.4%	-48.2%	

※ 固定資産の売却に伴い632百万円を特別利益として計上

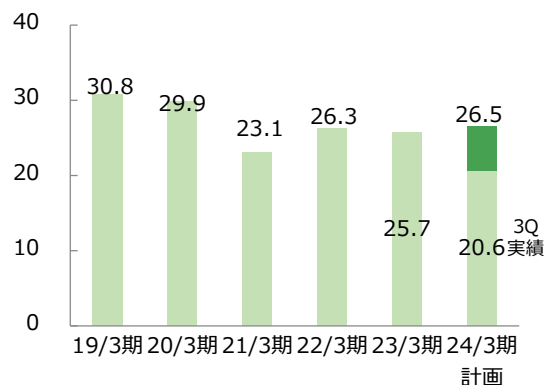
主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）業績見通し（2024年3月期）

売上高（億円）

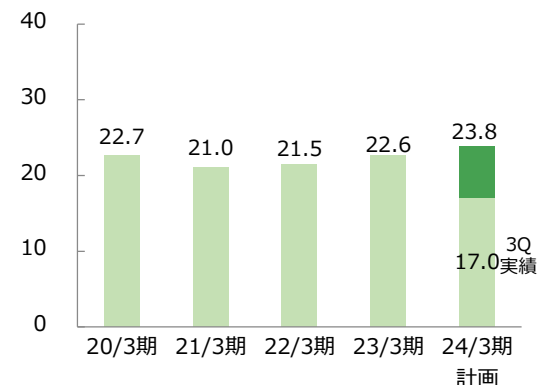
輸送用機械



鉄鋼



非鉄金属・金属製品



製品イメージ



鍛造金型



圧延ロール



製缶工具

事業概況

- 24/3期3Qは自動車部品生産の回復が進まず、全体的に低調。
- EV車の販売拡大が進んでいることに連動し、モーターコア用金型や対応製品が好調に推移。

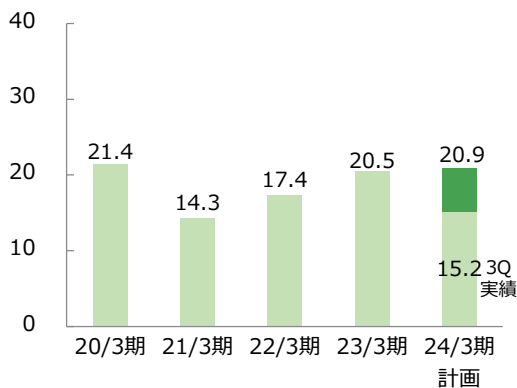
- 24/3期3Qは自動車部品販売が低調だったが、鋼管用ダイス・プラグの需要が1Qから引き続き堅調に推移。

- 24/3期2Qも1Qに引き続き海外向け溝付ロールが好調に推移。
- 缶器は海外向けが好調だったが、国内向けが低調だった。

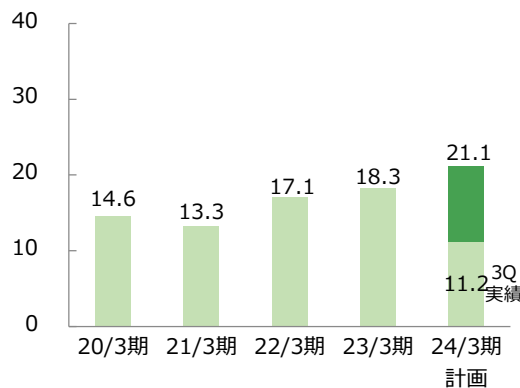
主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）業績見通し（2024年3月期）

売上高（億円）

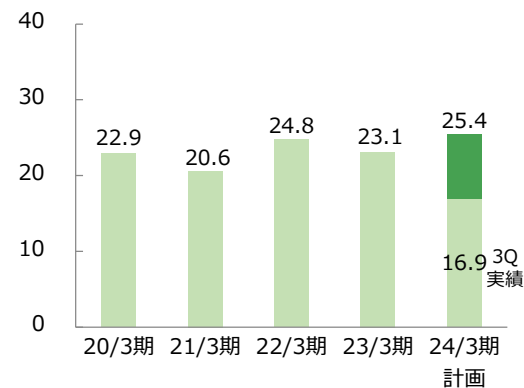
生産・業務用機械



電機・電子部品



金型・工具向け素材



製品イメージ



光学素子成型用金型



電池向け金型



金型・工具向け素材

事業概況

- 24/3期3Qは半導体製造装置向けや光学素子向けの販売が好調に推移。
- 半導体製造装置向けや光学素子向けは4Qも堅調と予想。

- 24/3期3Qは車載用電池向け製品の生産地変更に伴い需要が大幅に減少。
- PC・スマホの販売低迷の影響を受け、半導体の回復が遅れており、業績見通しは計画値の7割にとどまる見込み。

- 24/3期3Qはモーターコア金型向け素材の販売が増加傾向。
- 中国の経済停滞に伴い素材販売の需要が大幅減。業績見通しは計画値の9割にとどまる見込み。

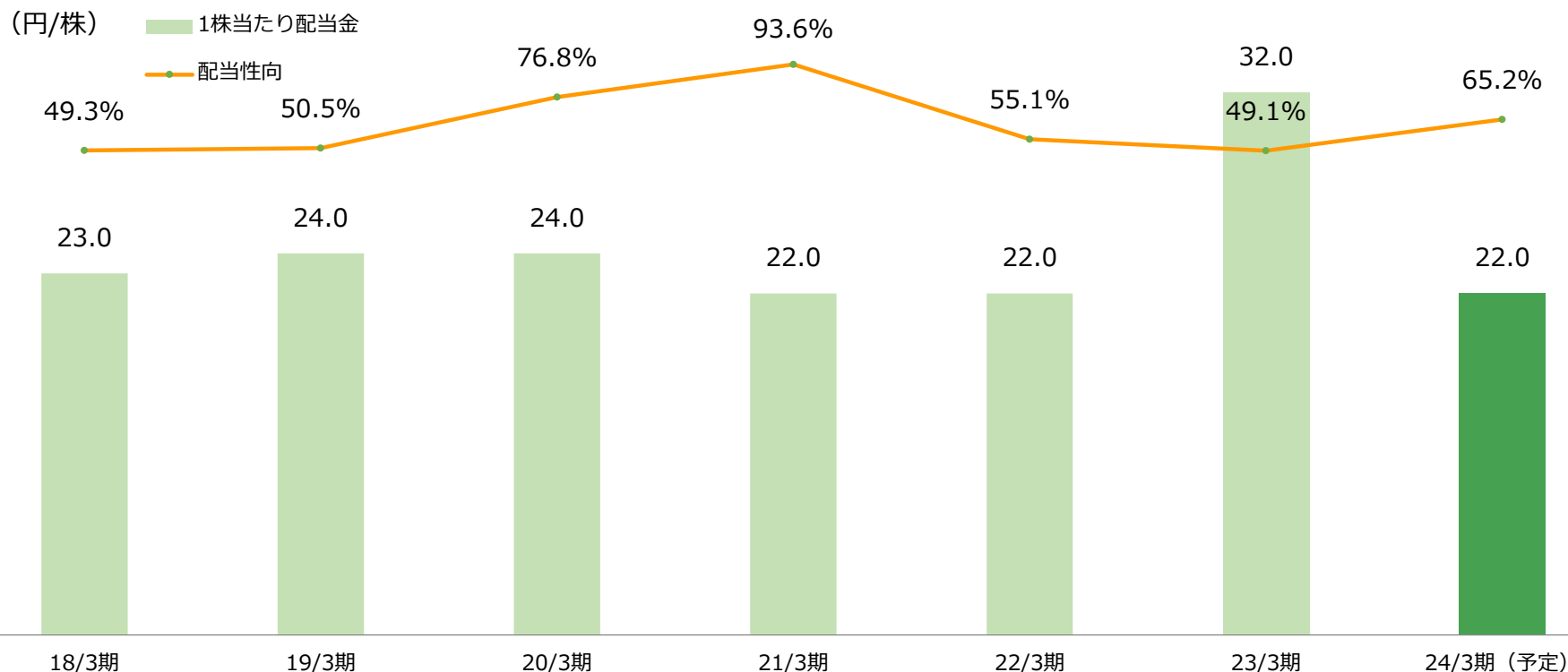
株主還元・配当

・ 2024年3月期は1株当たり22円
【期初計画から変更なし】

年間配当金
22円

【利益配分に関する方針】

安定配当の継続を重要な経営課題の一つとし、利益の状況、将来の事業展開、財政状態及び経営成績を勘案し、配当性向50%を目途に還元

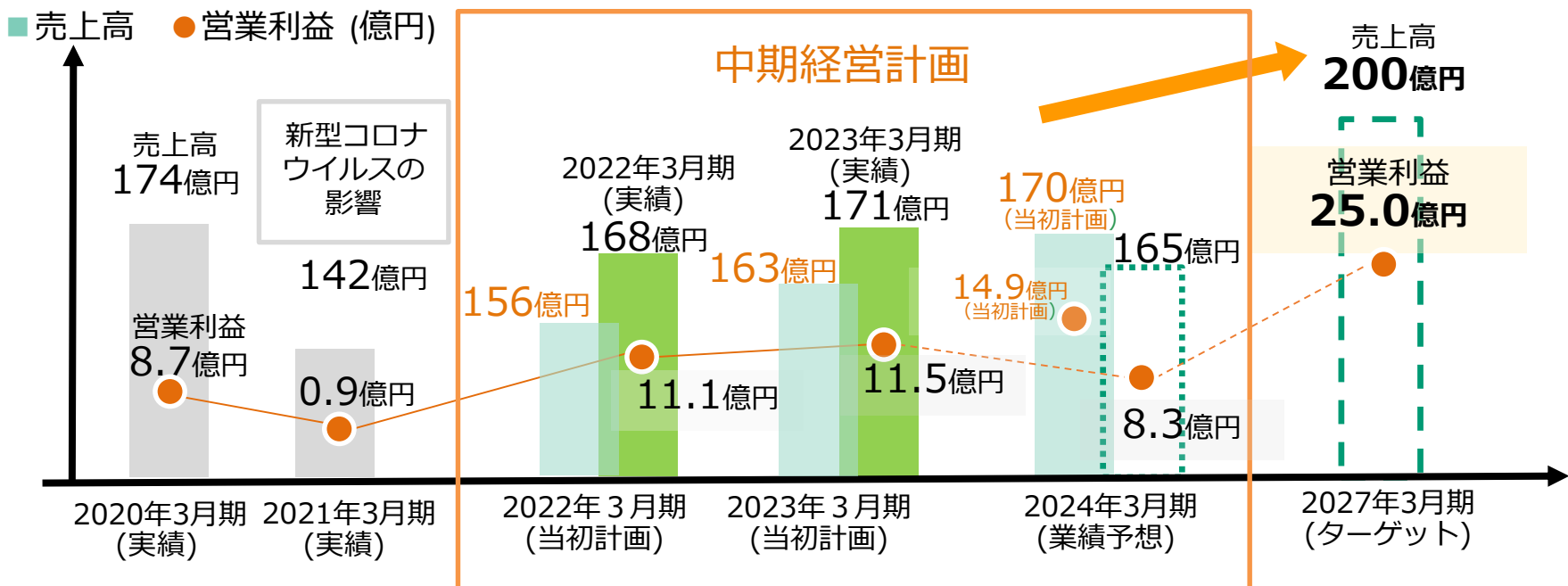


04

2024年3月期 重点施策の進捗

中期経営計画（2022年3月期-2024年3月期）の位置づけ《連結》

【フェーズ1：2024年3月期】 連結売上高：165億円、営業利益：8.3億円（修正後）
 連結売上高：170億円、営業利益：14.9億円（期初予想）
 【フェーズ2：2027年3月期】 連結売上高：200億円、営業利益：25.0億円



フェーズ 1 → フェーズ 2

- ・ コロナ禍からの回復
- ・ 筋肉質な企業体質への転換
- ・ 次世代新製品・新事業の育成・深耕
- ・ 海外事業の強化
- ・ 売上高拡大、更なる利益(率)の拡大
- ・ 営業利益率12.5%以上

中期経営計画（2021-2023年度）： 成長戦略・重要施策

～基本コンセプト～

筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築

1 生産性向上・業務効率化

生産プロセスの改善、ITを活用した業務効率化により、利益が出せる少数精鋭による筋肉質な体質を目指す

- ・ 外部コンサルタントを活用した生産効率の改善
- ・ ITを活用した営業手法の導入
- ・ 基幹システム、グループウェア刷新等のITインフラ整備
- ・ 生産拠点の見直しによる拠点再編の検討
- ・ 自立型人財の育成

3 新成長エンジンの創出

顧客の新たな価値創出につながるソリューション提供により、市場ニーズを先取りした高付加価値製品の開発

- ・ マーケティング部門と製品開発部門の融合
- ・ 大学や外部研究機関、取引先開発部門との共同開発などのオープンイノベーションの推進
- ・ M&A、業務提携の検討

2 次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

- ・ マーケティングによる選択と集中（モーター関連製品、電池関連製品は特に注力）
- ・ 販売/生産/研究開発部門の三位一体となった取り組み
- ・ 材料開発等による積極的な試作品の投入

4 海外事業の強化

アジア地域を中心とした海外売上高の拡大、管理機能の強化による海外子会社の経営安定化

- ・ ローカル人財の育成、オンラインを活用した販売活動
- ・ 海外製造拠点（タイ、インドネシア）の生産性向上、技術・技能の向上によるアセアン地域における競争力向上
- ・ 中国における販売拠点の拡大

重点施策の進捗 ①生産部門における生産性向上・業務効率化

熊本製造所のリニューアル

- 熊本製造所の冶金棟をリニューアル、本格稼働（2023年11月竣工式開催）



岡山製造所に新CIP装置を導入

- 岡山製造所にCIP装置※をリニューアル（大型化）、本格稼働を開始（2023年9月～）



※超硬合金製工具を製造する際に、金属の粉末を「金型」に入れて圧縮して固める粉末冶金の成形に使用する装置

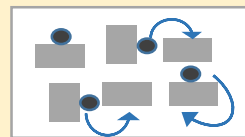
自動化ロボットの導入

- 郡山製造所の冶金作業に自動化ロボットを導入（2023年7月～）
仕様範囲の拡大を計画中
- 研削加工の自動化ロボット導入も計画中

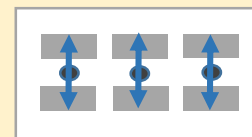


加工条件の標準化、レイアウト最適化

- 加工条件を最適化するとともに標準化することで、作業効率を向上
- 各工場のレイアウトを変更、作業導線の最適化を図る



改善前



改善後

高品質を維持しながら、より少ない時間で、より多くの製品を作ることを目指す

2024年3月期目標 **原価率4.4%低減**（2020年3月期第2四半期比）

モーターコア金型用材種の拡販により、二次電池の売上減をカバー、巻き返しを図っている。

モーターコア

- 電磁鋼板の抜き金型において、新素材【フジロイVG48】の市場での認知が広がり採用顧客を拡大、売り上げを伸ばしている。
- ラインナップを拡充させる事で、モーターコア金型用材種における顧客選択肢を増加させ、当社の優位性を高める。
- 更なるニーズ対応の為、新材料開発を継続。

二次電池

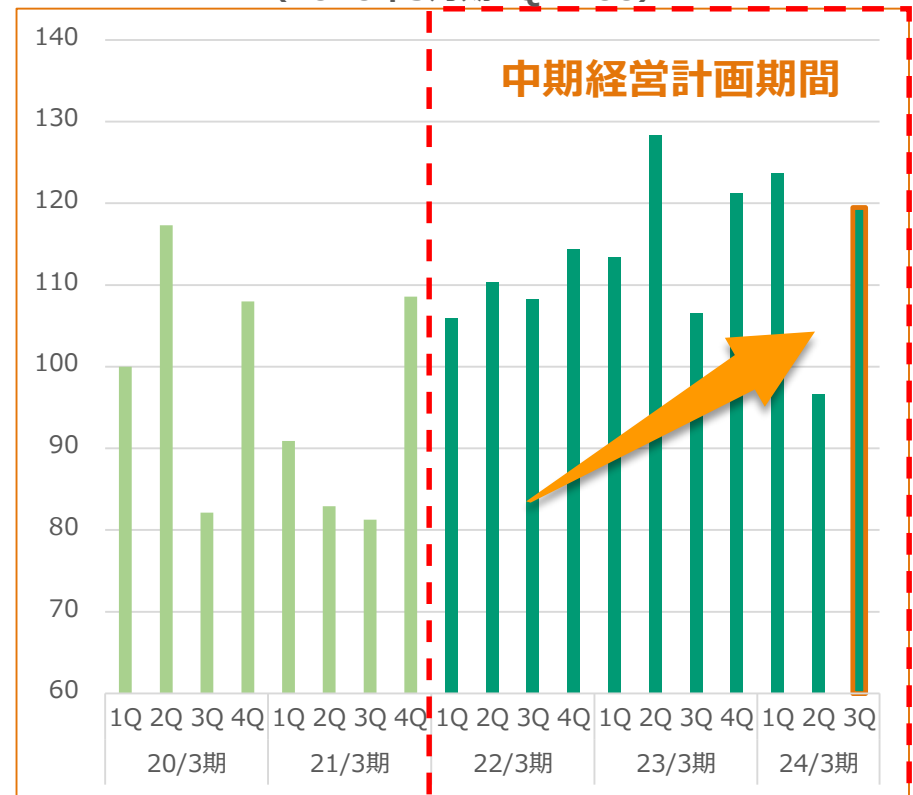
- 電池生産地変更に伴い大幅減少。
- 残存する国内需要は引き続き上向きであり、新規案件を含め受注確保に向けた活動に注力。

マグネット

- 車載用を中心にレアアース磁石の需要が高まり、国内、海外向けに金型および金型素材の需要が堅調に推移。

上記のほか、回生ブレーキなどの制動装置関連品用金型の拡販を推進

次世代自動車 重点拡販分野売上高推移
(2020年3月期1Q = 100)



2023年11月に郡山製造所に先端加工開発部を新設。

生産現場と技術開発部門が連携することで、開発スピードをアップ、製品化実現の加速を目指す。

粉末冶金技術を軸に、顧客ニーズに合わせた多種多様な構造材料、機能材料を開発



- - - 点線矢印 : 開発中
 ——— 実線矢印 : 客先評価中
 = = = 二重線矢印 : 販売中

分野	概要	進捗状況	販売時期(計画)		
			23年3月期	24年3月期	25年3月期
医療・化学	① 分析用デバイス成形金型	① 高熱膨張材 (TR合金)客先評価中	—————→		
環境・エネルギー	③④ 省タングステン・コバルト合金 (サステロイST60)	③ 材料開発完了・販売中 (特許出願中)	- - - - -→		
	④ ラインナップを開発中	④ ラインナップを開発中	- - - - -→		
	⑤ CO ₂ 還元用触媒	⑤ 第三者と共同開発中	- - - - -→		
	⑥ 水素発生用触媒関連製品	⑥ 開発中	- - - - -→		
高性能レンズ	⑦⑧ 高熱膨張レンズ用金型(TR合金)	⑦ 販売中	= = = = =→		
		⑧ 大径品対応中	- - - - -→		
積層造形 (3Dプリント)	⑨ 積層造形技術確立 (3D造形技術による超硬合金への適用)	⑨ 製品サンプル試作 (QCD試算中)	- - - - -→		

※ 各用語の説明や開発の背景については、P.41をご参照ください。

※ 下線はオープンイノベーションを実施中。

医療・化学、光学

高熱膨張・低比重硬質合金【フジロイ TR05・TR30】

市場投入フェーズ

開発開始

本格販売

高熱膨張係数と鏡面性を兼ね備えた革新的なサーメット系合金 (特許第6049978号)

2023年 第66回十大新製品賞 モノづくり賞

2023年度日本機械工具工業会 技術功績大賞

特徴 1

ガラスと同程度である従来の2倍の高熱膨張係数を有し、プレス成形時のガラス材の割れを抑制。ガラスレンズの生産効率を20%改善

特徴 2

比重が従来超硬合金の約1/2と小さく軽量

特徴 3

レアメタルであるタングステン及びコバルト未使用、安定的に調達が可能

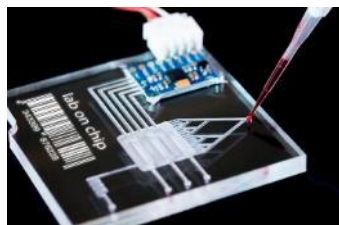


用途

ガラスモールド工法による熱膨張係数が高いガラスレンズや医療分野向けガラス精密加工製品を成形する用途に応用



高性能レンズ

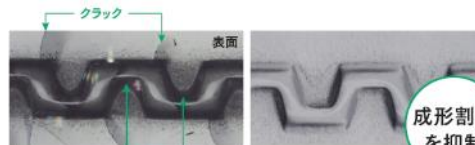


医療用デバイスマイクロ流路チップ (ガラス製)

Panasonic

ガラスモールド工法によるマイクロ流路チップの開発に貢献

成形後のマイクロ流路



超硬合金製金型

TR30製金型

成形割れを抑制

ガラスエッチング工法 (従来) →ガラスモールド工法へ量産化、高精度化、低コスト化が可能に

FUJILLOY

環境・エネルギー

省タングステン・コバルト合金【サステロイST60】

市場投入フェーズ
開発開始
●
試作品評価中

レアメタル使用量を9割削減した新材料サーメット系合金（特許出願中）

2023年超モノづくり部品大賞 奨励賞

特徴1

レアメタル（タングステン及びコバルト）の使用量を9割削減

特徴2

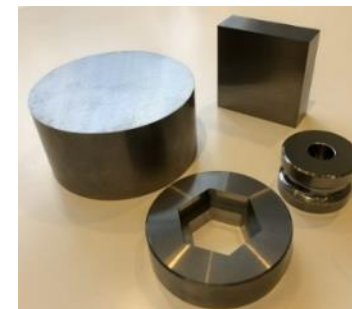
超硬合金の1/2の重量

特徴3

鋼より軽量でありながら、超硬合金に迫る硬さ・靱性を実現

特徴4

通電性や磁性を併せ持ち、汎用超硬合金と同等の放電加工が可能



用途

鋼製工具の摩耗や、セラミック工具のカケ・ワレ対策に最適
重さが超硬合金の1/2という特性を生かして、
顧客からの更なる要望に応え、ラインナップ化を検討中

造形技術の確立
3D造形超合金

市場投入フェーズ
開発開始
●
試作品作成中

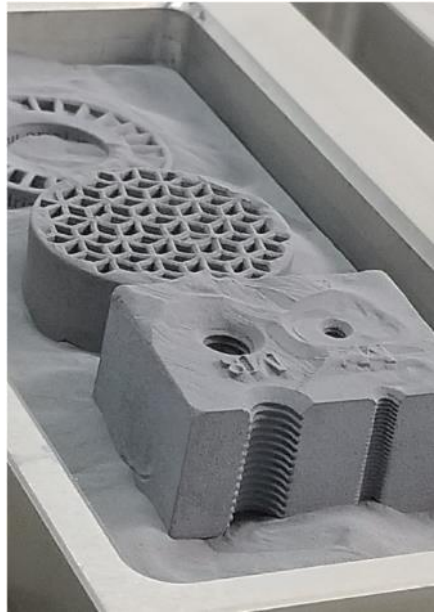
バインダージェット方式の積層造形により、これまでにない3D形状を実現

特徴 1

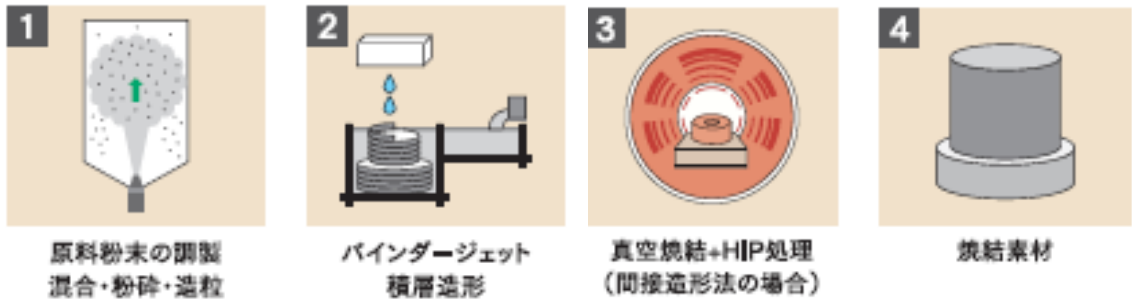
従来製作が出来なかった形状の金型や部品の超硬化により耐摩耗性を向上

特徴 2

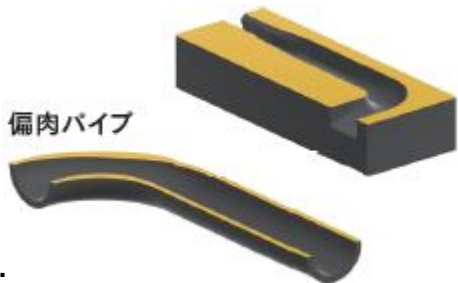
粉末効率向上と工程削減が可能



【バインダージェット方式の積層造形法】



【積層造形例】



重点施策の進捗 ④ 海外事業の展開について

2023年7月1日付で海外事業本部に組織改編し機動的な施策実施体制を構築
海外子会社と日本からの直接輸出の両輪で売上拡大を図る

インド

自動車部品メーカーを主に受注増加傾向
<対応>
● 休眠再開に向け市場再調査中

中国

経済成長減速の影響もあり主要な電子半導体関連メーカーなどからの受注減少
<対応>
● 東莞に支店を設立し華南地区の拡販強化
● 潜在需要の大きいEV関連部材メーカーの新規拡販強化

北米

特定顧客好調により受注増
<対応>
● 潜在需要獲得のため新規拡販活動を強化
● 現地法人設立も視野に入れ市場調査中

富士模具（上海）

Fujilloy Thailand

Fujilloy Malaysia

Fujilloy Indonesia

海外事業本部

アセアン

主要な自動車部品メーカーや半導体関連部材メーカーは生産調整などの影響により受注はやや減少傾向
<対応>
● 主要な自動車部品メーカーや半導体関連メーカーへの深耕
● EV関連部材メーカーや未参入分野の市場開拓
● タイ及びインドネシア工場の生産性向上による競争力強化と収益性向上



2024年3月期
目標海外売上比率：20%

ESGの取り組み

当社グループは、「事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる」という企業理念に基づき、新たに策定・開示した**サステナビリティ基本方針**に沿って、環境負荷軽減や地域との共生など持続可能な社会の実現に向けた企業統治や諸活動を行っています。

Environment 環境

- サステナビリティ委員会の設置
- 情報開示の充実（CDPへの回答、TCFD開示）
- 環境調和型製品の提供（日本機械工具工業会による環境調和認定製品7種類）
- 環境配慮製品への切り替え（FSC認証紙やベジタブルインキなど）
- 社用車のエコカーへの切り替え（2022年3月時点で60%切り替え済み）
- 環境関連法令順守の維持・継続（排水、排気、騒音、廃棄物、化学物質等）
- フジロイ・タイランドがCSR-DIW受賞（緑化、ボランティア活動、低所得者就労支援）
- 省タングステン・コバルト合金の開発



【フジロイ・タイランドCSR-DIW受賞】



【フジロイ・タイランド緑化活動】



【フジロイ・タイランド就労支援】

ESGの取り組み

Social 社会

- 地域社会との共生（献血活動の継続、おたオープンファクトリー、小学校への出張授業）
- 福祉施設への寄付・慰問
- 品質マネジメントシステム認証取得（2002年11月にISO9001認証取得し、継続登録）
による顧客満足度向上の持続的な改善
- 障がい者雇用の環境整備（障がい者農園を活用した野菜生産）

Governance 統治

- 企業理念、大切にしている価値観、長期ビジョンの策定と公表
- コンプライアンス・リスクマネジメント対応（2か月に1回、コロナ対応含め対策会議を実施）
- コーポレート・ガバナンス報告書を適時更新し開示
- BCP(事業継続計画)の策定と定期的な見直し
- 指名・報酬委員会の設置
- 独立社外取締役を3分の1以上選任
- 譲渡制限付株式報酬制度導入（社内取締役対象）



【小学校での出張授業】



【岡山県知事からの献血活動の感謝状】



【農園での収穫の様子】

中期経営計画の成長戦略

重点施策の推進	経営基盤の強化
<p data-bbox="314 361 832 454">筋肉質な企業体質への転換 中長期の成長基盤の構築</p> <ul data-bbox="202 504 803 853" style="list-style-type: none">①生産性向上・業務効率化②次世代自動車への対応・拡販③新成長エンジンの創出④海外事業の強化	<ul data-bbox="985 458 1688 803" style="list-style-type: none">・健全な財務基盤をもとにした資本効率性の向上・サステナビリティ基本方針に沿った企業統治・活動の推進・コーポレート・ガバナンスの強化



ROEの持続的向上とPBRの改善を目指す

05

APPENDIX

会社概要（2024年2月現在）

商号	富士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役社長 春田 善和
創業	1949年6月
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
連結子会社	新和ダイス株式会社 富士シャフト株式会社 FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD. 富士模具貿易（上海）有限公司 PT. FUJILLOY INDONESIA FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITED FUJILLOY MALAYSIA SDN. BHD.
従業員数	1,118名（2023年3月期末時点、連結）

富士ダイスの企業理念・大切にしている価値観・長期ビジョン

企業理念

- ◆ 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- ◆ 人間尊重、人間中心の経営

基本的な考え方（私たちが大切にしている価値観）

- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

長期ビジョン

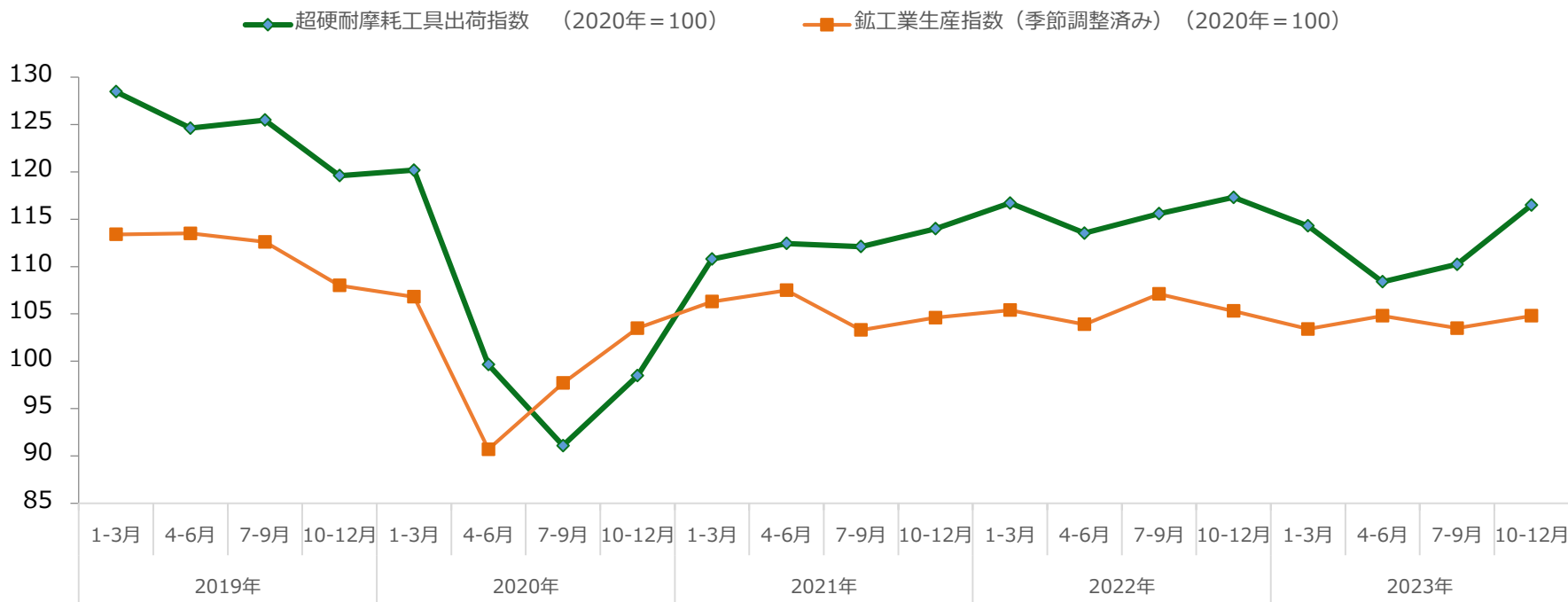
1. 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
2. 品性ある企業グループ並びに企業人

2024年3月第3四半期までの事業環境

鋳工業生産指数と超硬耐摩耗工具出荷

2020年度と比較すると回復基調にあるが、まだ両指数ともにコロナ禍前の水準には戻っていない

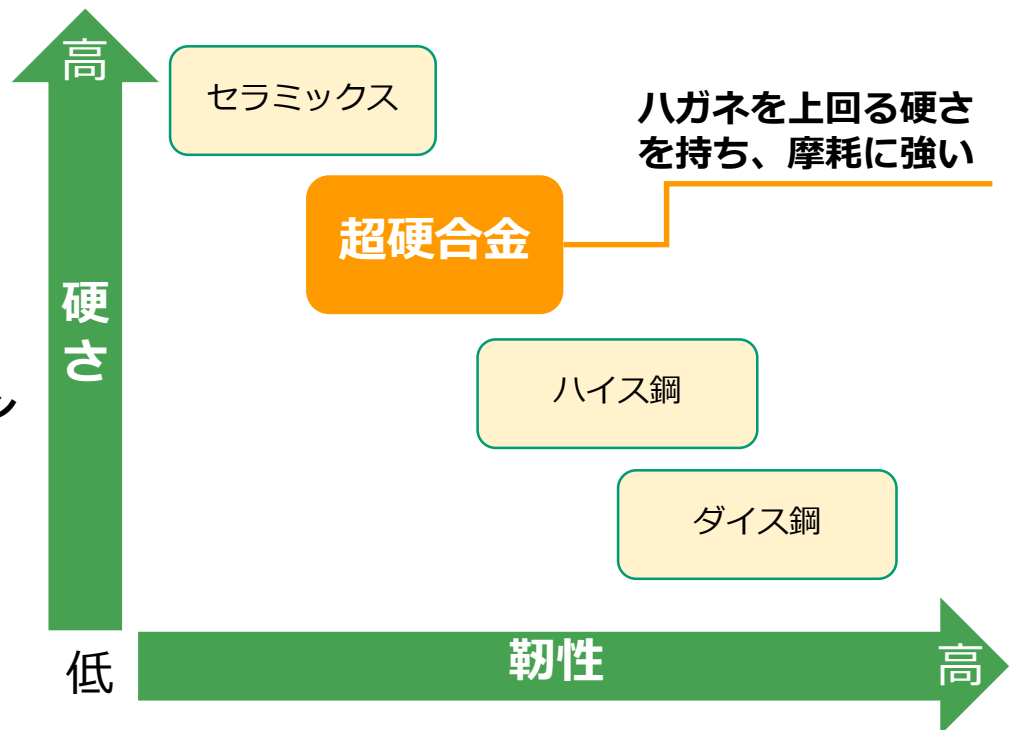
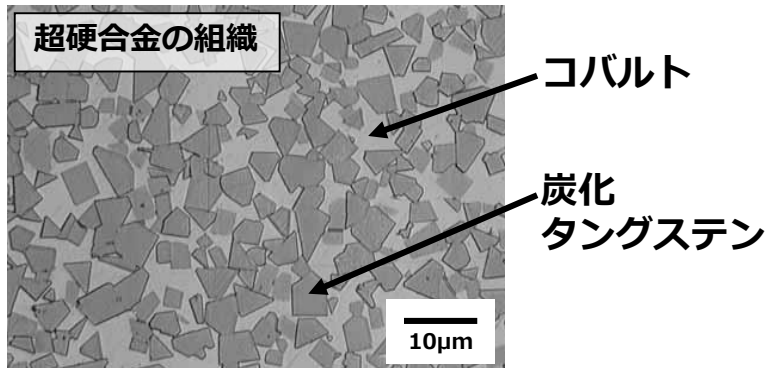
鋳工業生産と超硬耐摩耗工具出荷 指数推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鋳工業指数』

超硬合金とは

- 炭化タングステンなどの**硬質炭化物**とコバルトなどの**金属**を組み合わせた**金属材料**
- ステンレスや鋼鉄を凌ぐ**硬さ**を誇り、**圧縮強さ**、**耐摩耗性**に優れる
- **変形しにくく**、高い精度が求められる**金型**や**工具の材料**として適している
- 金属の粉末を型に入れ圧縮して成型し、融点より低い温度で長時間焼いて固める「**粉末冶金法**」で製造される



代表的な製品例

引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

当社製品



ダイス・プラグ



ロール

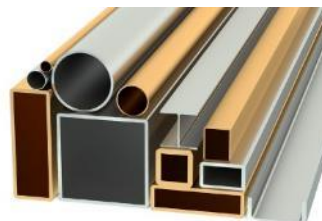
成形部材



パイプ



線材



異形管

最終製品例



タイヤ・エアコン・
鉄道架線他



インフラ設備

代表的な製品例

飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラのレンズを生産する金型

当社製品



製缶工具

最終製品例



飲料缶・一般食缶

当社製品



光学素子成形用金型

最終製品例



スマートフォンレンズ カメラレンズ



監視カメラ

代表的な製品例

鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具

当社製品



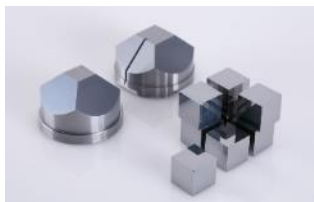
鍛造金型

最終製品例



自動車・各種機械用部品

当社製品



高圧工具

最終製品例



人工ダイヤモンド・
新素材開発

地球物理学研究

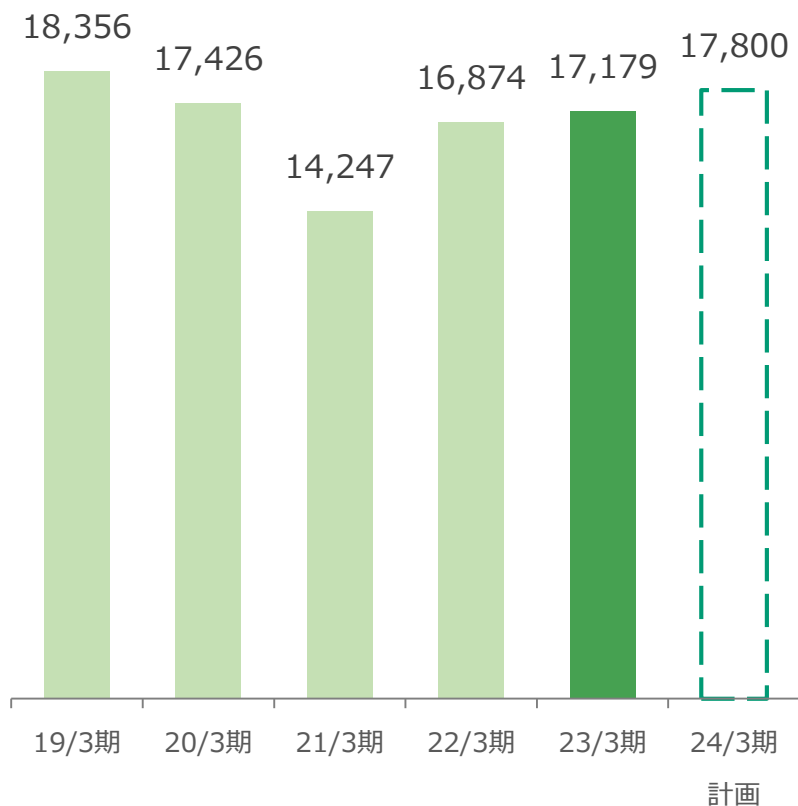
新製品開発・新技術開発に関する用語説明および開発の背景

分野	開発製品および技術	説明	開発の背景
医療・化学	・分析用デバイスとは？	樹脂やガラスなどの基板に微細な流路を形成した、チップ型の機能部品のこと。液体等を自由自在に混合・分流することができるため、分析等に用いられる。	デバイスの成型には鋼製の金型が用いられることが多いが、耐薬性に優れたガラス製デバイスの生産においては耐摩耗性が課題。 当社は、ガラス成型に向けた耐摩耗性の高い合金素材と超精密加工技術を活かして上記課題の解決のために研究開発を進めている。
	・分析用デバイス成型用金型とは？	分析用デバイスを成型するための金型。	
環境・エネルギー	・CO ₂ 還元用触媒とは？	二酸化炭素を、合成燃料や樹脂の原料に還元する反応を活性化させる触媒。	当社のコア技術である粉末冶金技術が触媒の合成に応用できることから、当社でもカーボンニュートラルな社会の実現に向けた技術として研究開発を進めている。
	・水素発生触媒とは？	水を電気分解し、水素発生を活性化させる触媒。現在は主として白金やイリジウムが使用されており、高コストや調達不足が懸念されている。	
	・省タングステン・コバルト合金とは？	タングステン、コバルトをほとんど使用しない耐摩耗性の高い合金。超硬合金と比較して軽量。	タングステンやコバルトが、資源として希少で中国等一部の地域に偏在していることを踏まえて、調達リスク軽減と軽量であることを活かした市場獲得のために開発。
光学	・TR合金とは？	熱膨張係数をガラス素材用に調整された耐摩耗性の高い合金。	ガラス素材を成型する際に、熱膨張係数の差によるガラス素材の損傷を防ぐことを目的として開発。
その他	・積層造形（3Dプリント）とは？	金属を積層することで様々な形状を作り出す加工方法のこと。	加工レス化による粉末歩留まりの大幅向上、無人稼働による効率向上等の実現のため開発を進めている。

業績の推移 1/3

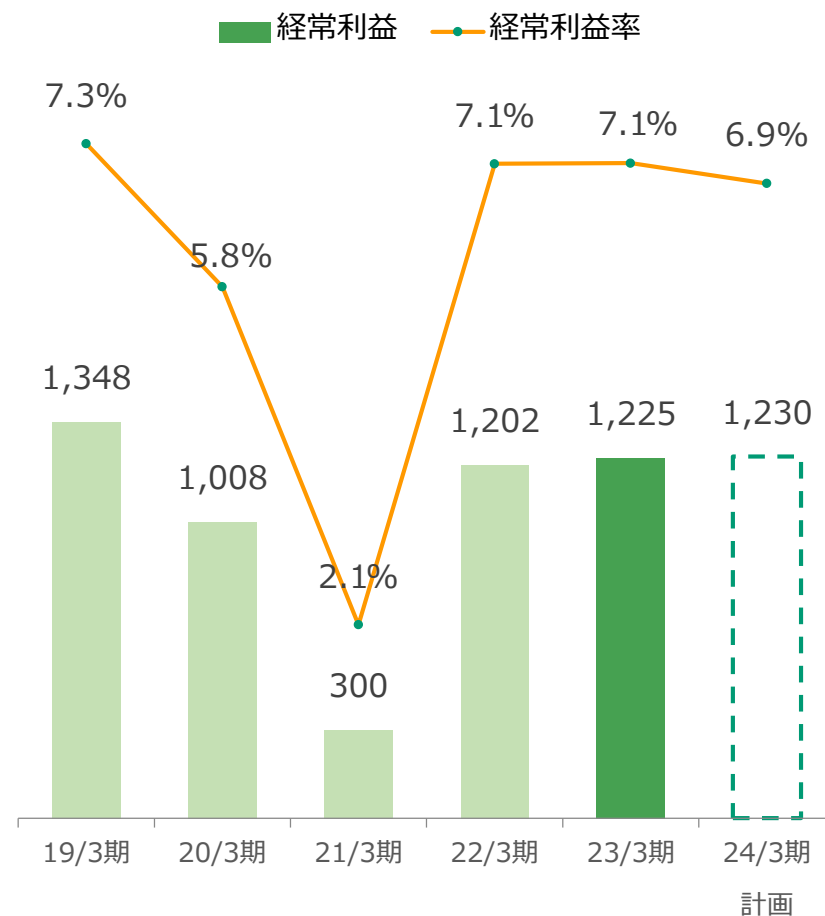
売上高

(百万円)



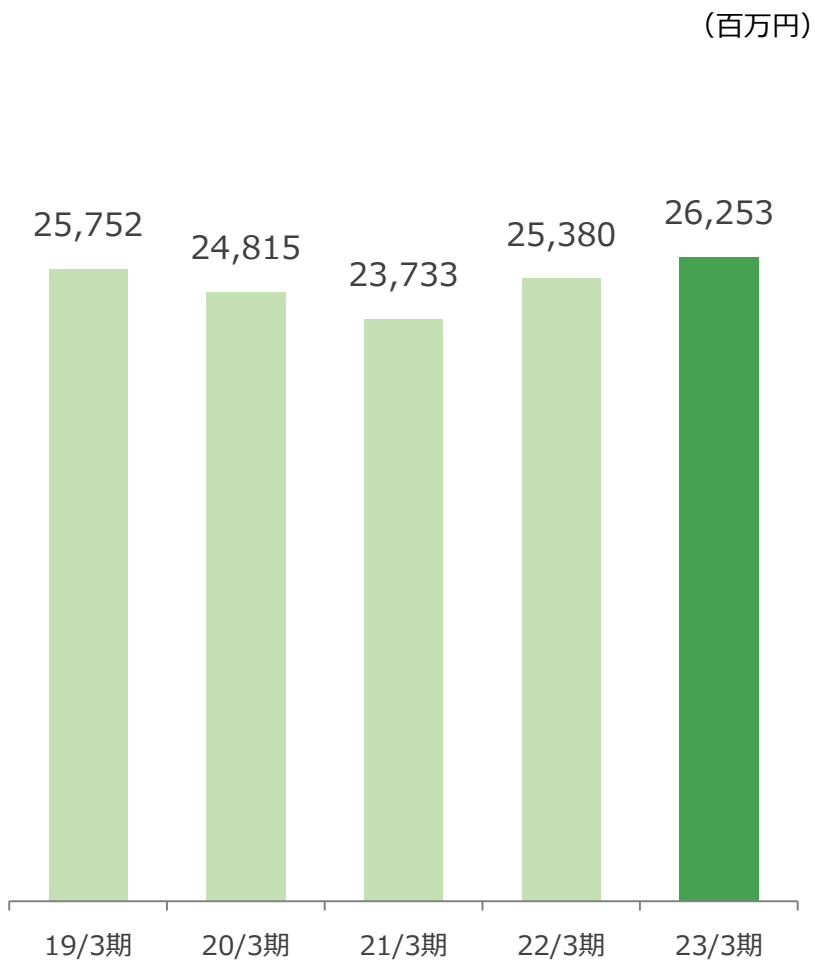
経常利益

(百万円)

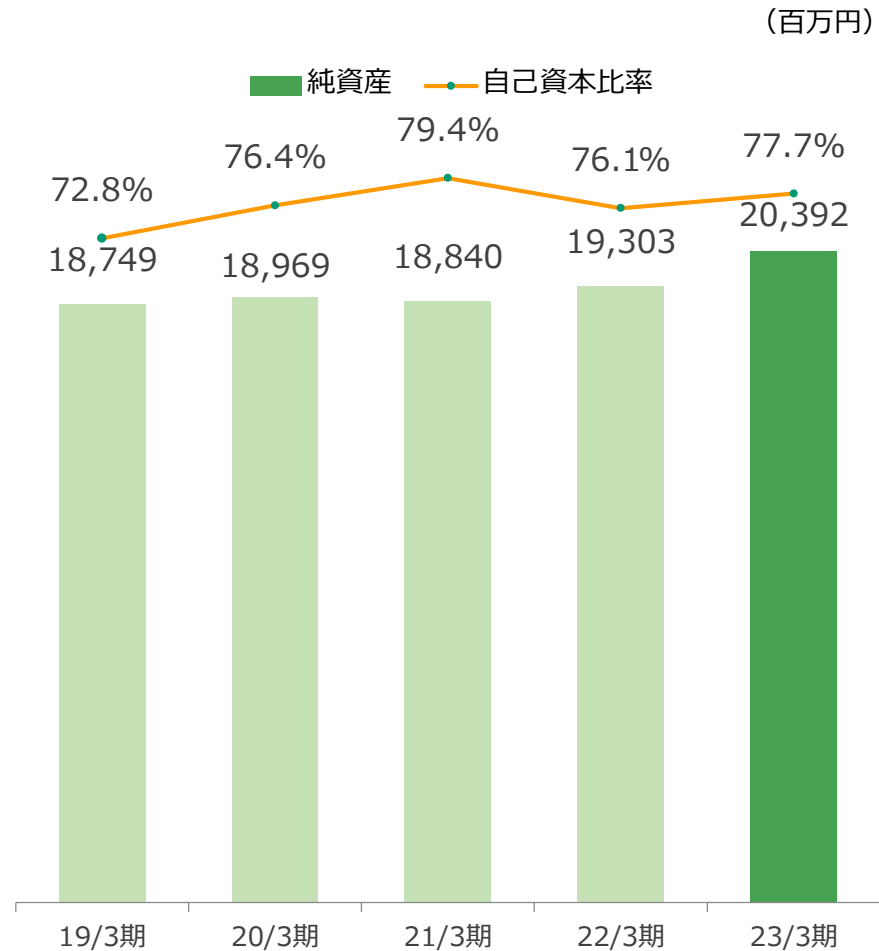


業績の推移 2/3

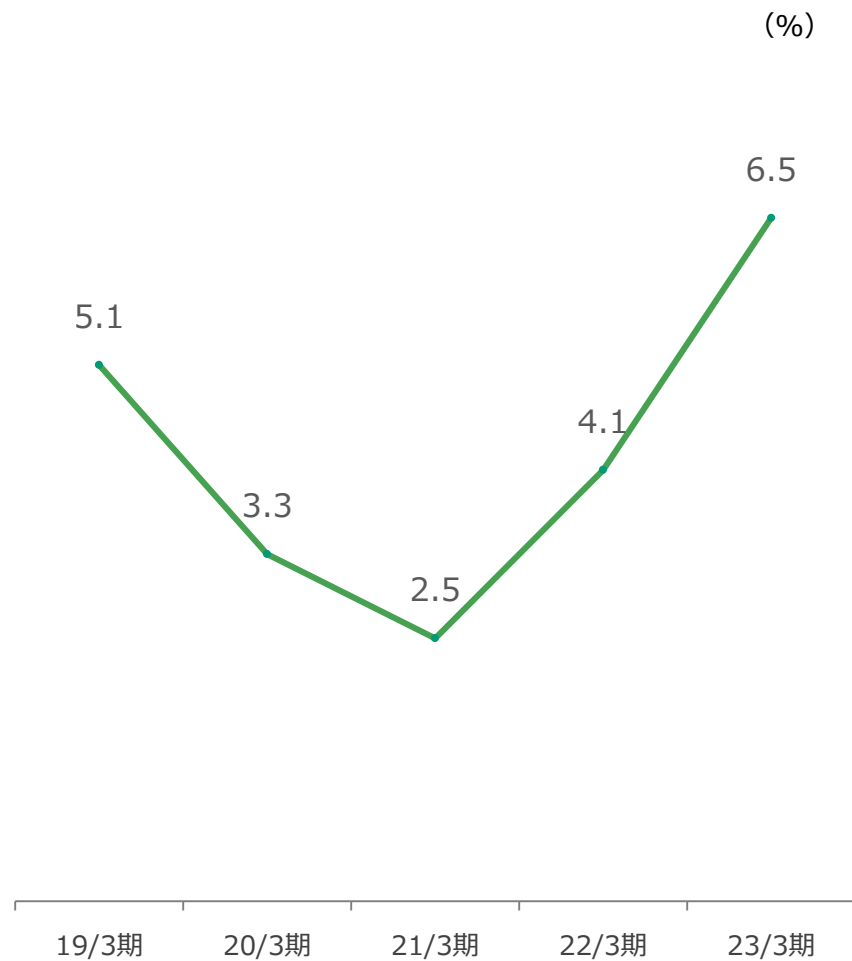
総資産



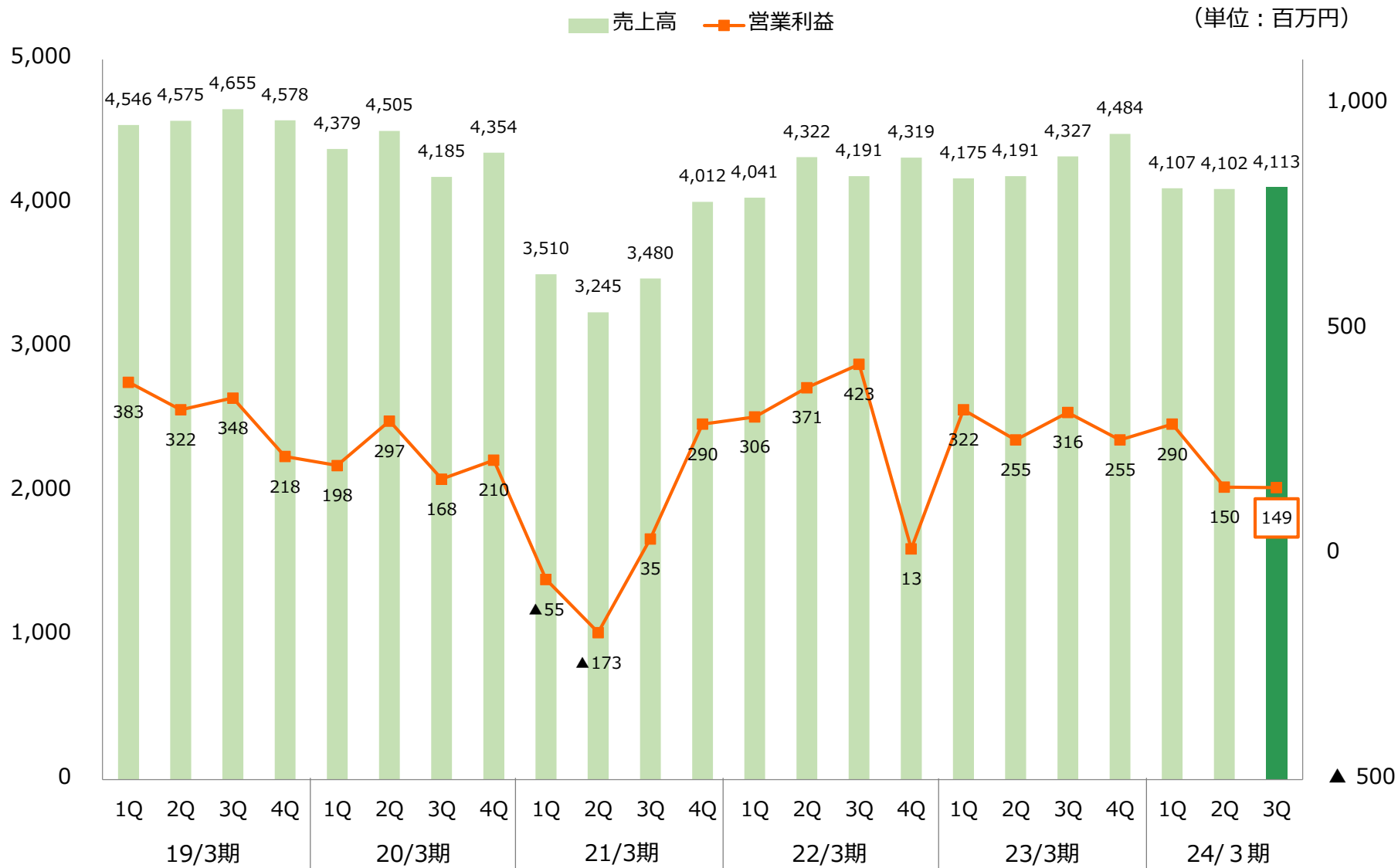
純資産



ROE



連結四半期業績推移



免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。